



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 44

2012.6.6 (No.2688)

第2560地区ガバナー／石本 隆太郎  
 会 長／山田 富義  
 会長エレクト／杉山 幸英 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／丸山 行彦 (クラブ奉仕B)  
 幹 事／小出子恵出  
 S A A／伊藤 寛一  
 会 計／明田川 賢一

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

- 本日の出席会員数:56名中39名
- 先々週出席率:73.58%

【先週のメイクアップ】

- [5.31] 燕RCへ
  - ・斎藤弘文さん、五十嵐晋三さん
  - ・田中 仁さん、関川 博さん
  - ・石橋育於さん (5名)
- [6.4] 三条南RCへ
  - ・山田富義さん
- [6.5] 三条北RCへ
  - ・山田富義さん



Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」  
 2011～2012年度国際ロータリーのテーマ

「市民球場・運動公園」



西山徳芳 会員より

会長挨拶

山田富義 会長



皆さんこんにちは、挨拶申し上げます。  
 今日からクールビズですが、私は痩せる  
 ためスーツ・ネクタイで頑張ります。  
 先程、新、旧理事・役員会が開催され、  
 来年度予算・計画が発表され、承認されま  
 した。

今年度最後の理事・役員会でもありました。

本日の卓話は中林順一会員です、宜しくお願いします。

名誉会員藤田説量様 一般葬について

当クラブ名誉会員でパストガバナー藤田説量様の一般葬に  
 ついて、6月3日 住職と打合せしましたのでお話をさせて頂  
 きます。

1. 日 時 平成24年6月10日(日) 午前10:00～
2. 場 所 極楽寺本堂 TEL 32-2746
3. 駐車場 ロイヤルホテル駐車場をご利用下さい。
4. ロータリークラブ関係の受付は、テントを張り、受付、  
案内100名程度予定

- ・受付、案内6名位 (午前8時30分集合)
- ・市内各クラブ 1名 (南、北、東クラブ)
- ・三条クラブ 小出幹事、会田、船越、若槻会員  
(成田会員はお寺との連絡) お願いします。
- ・午前10時45分～ ロータリー関係 弔辞3名 15分

1. 中條耕二パストガバナー

〔256地区 藤田説量ガバナーの時〕  
〔三条北RC設立、初代会長〕

2. 馬場信彦パストガバナー 三条南RC

3. 熊倉昌平会員 三条RC代表

※司会（ロータリー関係） 成田会員

- ・芳名カード用意してあります。芳名カードと香典を一緒に受付に出して下さい。
- ・足の悪い方は椅子席も準備してあります。
- ・各RCより生花一基、三条RCは香典30,000円お持ちします。
- ・ロータリー関係者は香典5,000円で統一してください。

宜しく願います。

第四銀行三条支店長、高橋尚樹会員は、転勤のため6月末で退会します。

荻根澤隆雄さん

先週、土曜日に裏磐梯・会津と巡って来ました。  
中林会員、卓話ご苦労様です。

成田秀雄さん

山田会長、ラスト理事会ご苦労様でした。  
中林さん、卓話ありがとうございます。

中林順一さん

今日は私の卓話です。  
皆さん寝てていいですよ。

熊倉昌平さん、 小出子恵出さん、川瀬康裕さん、  
小越憲泰さん、 船越正夫さん、 伊藤寛一さん、  
松永一義さん、 熊倉博之さん、 渡辺良一さん、  
関川 博さん、 丸山行彦さん、 五十嵐昭一さん、  
斎藤弘文さん、 会田二郎さん、 金子俊郎さん、  
西山徳芳さん、 明田川賢一さん、若槻八十彦さん、  
歸山 肇さん、 中村光一さん、 五十嵐博宣さん

中林順一会員、今日は卓話ありがとうございます。  
お話し楽しみにしております。

## 幹事報告

### 小出子恵出 幹事

6月6日分 ￥31,000  
今年度累計 ￥1,290,000

◎本日より「クールビズ」を実施致します。皆様のご協力をお願い致します。

◎鈴木ガバナーエレクト事務所より

「2012-13年度 インターアクト年次大会のご案内」

期 日 7月15日(日)～16日(月・祭日)

会 場 東京学館新潟高等学校

宿 泊 学生総合プラザSTEP

大会テーマ

【地域の食育と知的発達障害のある人たちと  
スポーツを通じ社会参加を応援しよう】

## ニコニコBOX

山田富義さん

今年度も先が見えて来ました。

ニコ、ニコです。

中林順一会員、卓話ありがとうございます。

杉山幸英さん

本日、新旧理事・役員を引き継ぎがありました。

中林会員、卓話楽しみにしております。

樺山 仁さん

クールビズがいよいよ始まりました。夏が続きます。

年一回の胃カメラを本日のんで来ました。みごとにセーフでした。

本日の中林会員の卓話に期待して！

社会奉仕委員会より

## 『トリムの森 草刈り』

参加ご協力をお願い

◇日 時：6月16日(土) AM 6:30～

◇場 所：トリムの森

※雨天決行させて頂きますので、各自雨具のご用意をお願い致します。

※当日の参加はメイクアップ扱いになります。

親睦委員会より

## 『会長幹事慰労会』

のご案内

◇日 時：6月27日(水) 18:30～

◇会 場：二洲楼



## 卓 話



### 中林順一 会員

昨年12月に三条ロータリークラブに入会させていただきました。ありがとうございます。友人の松永一義君、野崎喜一郎君、荻根澤さんに入れ入れと、誘われていたのですが、入会を決めかねてグズグズしていたところ高橋さんから尻を押していただきまして、入会させていただきました。

入会の節には高橋司さんから善い事ばかりの紹介をしていただき、しょうしいばかりでした。その節はありがとうございました。

本日は卓話をせよとの事ですが、人生61年と少しやっていますが、30分も1人で話をした事ありません。

困ったなあと思っていましたが、先頃、五十嵐晋三さんの卓話を聞かせていただきました折、15年ぶりに卓話をするとの事でした。

15年ごとに1回なら、なんとか出来そうな気もしましたが、おもしろい話ありませんので、取り合えず自己紹介というか、私で製造業3代目になった話をさせていただこうと思います。

私は現在、刃物の製造と他に色々な製品を企画、委託製造輸入をしています。どうしてこうなったかお話をさせていただきます。

元々、私の祖父が鍛冶屋を始めたのですが、祖父は明治14年生れです。生れは新発田、育ちも新発田だったようですが、若い頃から大酒飲みで、親にあきれかえられたらしく勘当され、その後新発田から出たようです。父から聞いた話なんです、金が無いので高崎まで歩き、高崎から東京へ汽車で行ったそうです。

日露戦争後、ポーツマス条約を不満とした暴動が日比谷であったそうですが、その時日比谷公園に騒動を見に行ったそうですので、その頃明治38年頃には、東京で鍛冶職をしていたようです。

その後、三条に来て、祖母と所帯を持ち、屋根屋玄能を造っていたそうです。屋根屋玄能というのは、昔は薄板を屋根に釘打していたそうで、その釘を打つ為の金槌だそうです。祖母と所帯を持ってからも相変わらず、大酒飲みで1日仕事をすると2日酒を飲んで貧乏していたそうです。

その後、大正11年に父が生まれましたが、その父も小学校高学年の頃から鍛冶屋の大槌を振らせていたそうです。

父は尋常小学校高等科と終り、本人は東京へ行ってトラックの運転手になりたかったのだそうですが、祖母は父を他の鍛冶屋へ弟子入させる予定だったらしく、父はそれがいやで家出をして東京へ行くつもりだったそうですが、駅でつかまり相蔵さんという鍛冶屋に弟子入させられたそうです。

父はそのままたまらず東京へ行っていけば人生変わっていたと言っていました、若い頃の父も祖父と同じで大酒飲みでしたので、トラックの運転手にもしもなっていたら、かなり危ない人生だったのではと私は思っていました。

その後、第二次世界大戦が始まり（太平洋戦争でしょうか）軍事物資としての鉋や斧を生産する為に鍛冶屋が統合されて、相田合同工場になり、そこに父は仕事をしていました。

その後、兵隊に徴兵され中国大陸へ渡りましたが、中国でも鉄砲を打つかたわら鍛冶仕事をしていました。

終戦後、兵隊から帰って来てからしばらく鍛造工場に勤め、三条機械の作業工具の型打鍛造の地ごしらえをしていたそうですが、その鍛造工場が昭和31年頃に倒産したので、横町にあった自宅の裏を鍛冶場に変えて鉋の製造を始めたそうです。

これから私の話になりますが、昭和42年に三条第二中学校を卒業後、鍛冶屋にさせられました。子供の頃から父に大人になったら鍛冶屋になるんだぞと言われていたので、何にも考えず鍛冶屋の見習いにさせられましたが、17才～18才頃になると、な～んとなく世間が少しわかるような感じがして来まして。

当時、父と叔父と私の3人で鍛冶をやっていましたが、父と一緒に酒を飲む取り引き先を大事にして、たくさん注文くれる。そのかわり少し値引きを要請されましたが、それが気に入らないと取り引きを断る父でしたので、貧乏が計が行っていました。

仕事のある時は造り切れないくらい注文があるのですが、無い時は細々とした仕事しかなく、こ～んな父では今後我家は食っていけるのかなあ～と心配でした。

鍛冶仕事や物造りは好きでしたが、こんな状態から変わりたいと思っていましたが、どうしたら良いのかわからず父や叔父としょっ中喧嘩していました。

19才の時、たまたま取り引き先の一軒が千葉へ行って商売をすると鍛冶場へ来て話をされていたので、つれて行って欲しいと頼みました。OKしてもらいましたので、20才になってすぐに千葉へ行きました。



そこで親方1人、子方1人のでっち奉公みたいな仕事が始まりましたが、15才～20才までの5年間、鍛冶仕事をしていましたので、鋼や鉄が相手に話をする事が無かったのが、急に営業に出されましたが、どうして良いのやらさっぱりわからず、取り引き先の金物屋さんへ行っては、バケツとぞうきんを借りて、お店の棚の掃除をしたり、お店にお客さんが来られると鉄筋やセメントを積んだりしている内に、お店の方から注文をもらっていました。

三条に居て鍛冶をやっていた頃、我家は主力は鉋でしたが、鑿も造っていました。その打金なんです、あるお店の棚を見たら我が家で造っている打金と兵庫県三木の三木で造られている打金が置いてありまして、兵庫県三木の製品はSC-50C、機械構造鋼で型打鍛造の製品で、我が家で造っている鑿はバネ鋼でスプリングハンマーで1つずつ鍛造した品物なんです、お店によっては同じ値段か又は兵庫県の三木の製品の方が高く売られているのに驚きました。

S-50-Cとバネ鋼では、はるかにバネ鋼の方が品質が良いのですが、三木の品物は型打鍛造なので形が良いのです。それでこんな事になっているのだと感じましたが、製品の良さをうまく伝えられないと、こんな事になってしまうのかとくやしい思いをしました。

東京の盛光（盛光とは東京の板金用品のメーカー問屋なのです。）の板金鑿もバネ鋼で造り、三条の間屋さん経由で納めていたのですが、これもS-50-Cの型打鍛造品に取って替わられてしまいました。私が三条で鍛冶屋の見習いをしていた頃です。

その後、私が27才の時に妹が結婚をする、家を出て行く事になりまして、妹にはムコをもらい家を継いでくれと言っていたのですが、弟にも家に帰ってくれと言っていたのですが、ついに弟からは返事がなく28才の3月に家内ともども千葉の仕事をやめて三条へ帰って来ました。

しばらく失業してしまして親戚の鉄工所で旋盤加工やセーパー加工等のアルバイトを半年ほどやっていたのですが、ず～っとアルバイトというわけにもいかず、三条市内で鉄屋さんに就職しました。

当時、鑄物工場もある40人くらいの工場でした。営業で入ったのですが忙しいと現場仕事も、しょっちゅうやっていて現場仕事の方が好きだったので、社長にだまって色々な事をやっては社長に「だまってやるな」と怒られていました。

そんなんで結構楽しくやっていたんですが、ある日突然、お得意先で兵庫県三木市で造られた鉋を見てしまいまして、ついムラムラと又、刃物造りをやりたくなくなってしまい、勤務先の社長に半年後に会社を辞めさせて欲しいとお願いしまして、昭和59年3月に親父の鍛冶場の一部を借りて、又、刃物造りを始めてしまいました。28年経ちましたけれど、これが私の刃物づくりの始まりです。

ありがとうございました。

次週例会 6月20日 「一年を振り返って」 山田富義 会長  
小出子恵出 幹事

次々週例会 6月27日 夜例会「会長幹事慰労会」  
18:30～ 於 二洲楼

